

☆ オーストリア

化繊業績

Lenzing Group、2015 年上期は増収増益

セルロース繊維メーカー大手 Lenzing Group が 2015 年上期の業績を発表した。それによると、ユーロ安、販売量の微増、プロダクトミックスの改善を受けて売上が伸びたほか、第 2 四半期における製品需要の増加、販売価格の改善が堅調な業績に寄与した。

2015 年上期の売上は前年同期比 6.2%増の 9 億 5,540 万ユーロ、利益は前年比 3.4 倍増の 5,160 万ユーロ、EBITDA は前年比 37.7%増の 1 億 2,650 万ユーロ、EBIT は前年比 86.7%増の 6,050 万ユーロとなった。

Lenzing の上半期業績

(100 万ユーロ)

	2014/1-6 月	2015/1-6 月	前年同期比%
売上げ	900	955.4	6.2
EBITDA	91.9	126.5	37.6
EBIT	32.4	60.5	86.7
純損益	15.2	51.6	239.5

負債額は 10.7%改善し 4 億 150 万ユーロ。設備投資は 2014 年にオーストラリア北部の Lenzing で世界最大の TENCEL 工場を稼働開始(海外速報 2014 年 8 月 10 日号)して以降は縮小傾向にあるが、不安定な市況や高まる品質への要求を背景に、コスト及び品質の最適化に重点的に投資している。また、同社が推進するコスト最適化策「excelLENZ」は 2015 年上期も引き続き成果を挙げ、目標削減額である年間 1.6 億ユーロも達成見込みであり、2016 年にもその効果が実感として現れ始める見通しだという。Lenzing AG の技術ユニットと 2015 年第 1 四半期に立ち上げた子会社 Lenzing Technik の再編は計画通り進んでいる。

TENCEL に関しては、デニム向け需要が引き続き高まっており、過去 1 年間で TENCEL をデニム生地に採用した織布業者の数は 2 倍に上るほか、2015 年上期には新繊維である TENCEL A100 が発売された。今後も不織布分野における地位を強化する方針である。

セルロース繊維産業を取り巻く市場環境は、2015 年半ばに入り 3 か月前と比較すると多少改善された。繊維販売価格の上昇を受け、現在まで需要が堅調に増加している。2015 年下期は、中国における不安定な地

政学的状況及び経済情勢、さらには予測不能な為替レートの変動がマイナス要因である。

流動的な環境ではあるものの、Lenzing Groupは下期にはさらなる業績の改善と債務縮小を目指す。

セルロース繊維業界の中長期的成長率は、世界の繊維市場の成長率を上回る見通しである。

☆米 国

合繊設備 DAK、ポリエステルSを増設へ

大手ポリエステルメーカーDAK Americaはこのほど、ミシシッピ州ベイ・セントルイスの Pearl River 工場において、ポリエステルSの生産を増強する計画を明らかにした。米国国内の需要増加に対応するため、紡績用及び不織布用を増強する。3.0 デニール以下の生産が主だが 0.9～9.0 デニールまでの生産に対応するという。

Pearl River 工場での増産により、国内 2 か所目のポリエステルS生産拠点として国内向け供給能力を高めるとともに、メキシコ湾に面した地の利を活かし成長するメキシコの繊維市場に対応する役割も期待される。

増産プロジェクトにより、工員、機械整備、技術者、管理者を含め 86 名の雇用が生まれる見込みである。

同社はサウスキャロライナ州 Cooper River 工場でポリエステルSを年間 1.2 万トンを増強する計画を 2014 年 10 月に発表しており、Pearl River 工場の増強が完了すると、DAK の NAFTA 地域におけるポリエステルS生産量は約 31.8 万トンとなる見通しである。

Pearl River 工場で現在生産中の PET 樹脂 Laser+の生産はこれまで通りだという。

＜参考＞ 米国のポリエステルS生産能力

年	1000 トン/年	年	1000 トン/年
2000	1,222	2008	937
2001	1,140	2009	721
2002	1,139	2010	736
2003	1,126	2011	757
2004	1,083	2012	784
2005	1,066	2013	778
2006	1,017	2014	683
2007	937		

(出所) Fiber Organon (注) 各 5 月末現在